

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち													
施策No.	23	施策名	地域医療体制の充実													
主管課名	健康センター															
関係課名	市民課、社会福祉課															
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で安心して医療が受けられる体制になっています。 ・症状に応じた医療を受けられる救急体制が整っています。 															
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・ 民 ・ 所	<ul style="list-style-type: none"> ・症状に応じて適正な医療受診に努めます。 ・身近な地域でかかりつけ医を持ちます。 														
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が安心して医療が受けられるように医療機関と連携を強化し、救急医療や在宅医療など地域医療体制を支援します。 ・広報やホームページにより、救急医療機関情報を提供します。 														
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関相互の連携による効率的な医療を提供します。 ・住み慣れた地域で療養生活ができるよう医療サービスを提供します。 														
市民意識 調査結果	<施策実感度調査結果>※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.048</td> <td>0.133</td> <td>0.112</td> <td>0.327</td> <td>0.437</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.048	0.133	0.112	0.327	0.437	
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.048	0.133	0.112	0.327	0.437												
<施策重要度調査結果> <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.954</td> <td>1.007</td> <td>0.918</td> <td>1.109</td> <td>1.105</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.954	1.007	0.918	1.109	1.105		
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度												
0.954	1.007	0.918	1.109	1.105												
施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績								
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)								
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)								
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)								
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—													
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—													
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）	千円	—	83,038	76,513	79,500	77,413	26,775								
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	76,764	76,459	79,367	77,255	26,751								
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	6,274	54	133	158	24								
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—													
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—													
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	5	3	4	4	5									
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	1,100	288	500	1,100	1,200									
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）	千円	—	4,839	1,208	2,191	4,599	4,933									
F. トータルコスト（B+E）	千円	—	87,877	77,721	81,691	82,012	31,708									
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）	円	—	1,874	1,738	1,825	1,794	627								
	同 上 H. 人件費（定義式：E/人口）	円	—	109	27	50	107	116								
	同 上 I. トータルコスト（定義式：F/人口）	円	—	1,983	1,765	1,876	1,901	742								
	同 上	円	—	1,983	1,765	1,876	1,901	742								
参 考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111								
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706								

基本事業概要シート①

施策No.	23	施策名	地域医療体制の充実
基本事業名①	救急医療体制の充実		
基本事業①の目的(意図)	救急患者が安心して医療が受けられます。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【一次救急体制支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市医師会へ「在宅当番医制運営事業」を委託し、日曜・祭祭日の救急医療を継続実施しており、平均200人/月の利用がありました。 ・富山労災病院、魚津市医師会と協議の上、平成28年4月に労災病院内に初期急患センターを開設し、19時～22時の急病への対応を開始しており、平均60人/月の利用がありました。 <p>【地域中核病院支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内唯一の総合病院である富山労災病院に対し、「地域がん診療拠点病院」としての対応を充実するとともに、心疾患や脳血管疾患への速やかな治療など、市民が安心して受けられる地域医療の充実を図るため、高度医療機器の整備支援として、新たに機器(コンピューター断層撮影装置、核磁気共鳴画像装置、血管造影撮影装置)の設置助成を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
救急医療体制に満足している市民の割合	%	40.3 (H23年度)	43.0	42.3	44.0 51.3	48.0	52.0	56.0	60.0

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 一次救急体制支援事業	13,143,000	8,445,403	4,697,597	A	健康センター
2	一般会計	◎ 地域中核病院支援事業	18,306,000	18,305,675	325	A	健康センター
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			31,449,000	26,751,078	4,697,922		

基本事業概要シート②

施策No.	23	施策名	地域医療体制の充実
基本事業名②	在宅医療の推進		
基本事業②の目的(意図)	市民が身近な地域で安心して医療が受けることができます。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【在宅医療・介護連携推進事業(主管:社会福祉課)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携をテーマに、新川地域医療在宅支援センターと共催で、住民を対象とした市民公開講座を開催しました。併せて、在宅医による講座を地区で開催するなど普及啓発に努めました。 ・市内の医療・介護関係者を一堂に会し、魚津市の医療・介護の在り方についてグループワークを開催しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
在宅医療相談者 (※把握可能な相談者数を計上)	人	45	267	150	150 155	150	150	150	150
訪問歯科診療利用者数	人	37	117	86	110 100	120	130	140	150
在宅の介護保険サービス利用割合 (在宅サービス受給者/要介護認定者:9月)	%	55.6	59.4	60.0	60 59.3	62	64	66	68

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	介護保険事業特別会計	◎ 在宅医療・介護連携推進事業	727,000	24,365	702,635	B	社会福祉課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			727,000	24,365	702,635		

施策評価結果シート

施策No.	23	施策名	地域医療体制の充実
-------	----	-----	-----------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①救急医療体制の充実】 ◆救急医療体制に満足している市民の割合は、51.3%と前年(42.3%)より増加しています。 ◆平成28年4月1日に、富山労災病院内に「魚津市急患センター」を開設したことにより、初期救急に関しては、次のとおり体制が整備されています。 ・「魚津市急患センター」(富山労災病院内) 全日 19時から22時まで ・「在宅当番医制」(魚津市医師会) 日曜・祝祭日 9時から17時まで ・「新川医療圏小児急患センター」(黒部市民病院内) 全日 19時から22時まで、日曜・祝祭日 9時から17時まで なお、県内では、初期急患センターは、富山、高岡、砺波医療圏に1か所設置され、内科・小児科等の診療を行っています。 日曜・祝祭日については、医師会単位で在宅当番医制で対応している地域が多くみられます。</p> <p>【②在宅医療の推進】 ◆訪問歯科診療利用者数は、医師や歯科医師等の連携やケアマネージャーにより周知され、一定の利用がみられます。 ◆本市には、在宅医療の構築を目指して、在宅医療に関心のある医師を含めた多職種スタッフの集まりである「メディカルネット曇気楼」があり、市と共催により市民公開講座や研修会を開催しています。また、新川医療圏域には、県からの補助で設立した「新川在宅医療支援センター」があり、在宅医療の推進に関する活動を行っています。 ◆医療や介護を活用しながら、在宅で生活できることの周知が不足していると考えられます。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①救急医療体制の充実】 ＜一次救急体制支援事業＞ ◆魚津市急患センターの開設によって夜間の初期救急体制が整い、平均60人/月の利用がありました。また、在宅当番医制の診療では、平均200人/月の利用がありました。 ◆小児の初期救急医療については、新川圏域を対象として、黒部市民病院内で、夜間(19時～22時)及び日曜・祝祭日の日中(9時～17時)の対応を行っており、利用者数は年々減少の傾向がみられます。 ◆富山労災病院が新規オープンするにあたり、地域医療の充実と市民がより利用しやすい病院となるため、新たな高度医療機器の貸与を行いました。がん診療連携拠点病院としての役割や急性期・救急医療への対応が期待されます。</p> <p>【②在宅医療の推進】 ＜在宅医療・介護連携推進事業＞ ◆在宅医療をテーマとした市民公開講座や地区公民館で在宅医による講座を実施し、普及啓発を行いました。また、医療や介護に従事する職員に対して、在宅を意識したサービス提供に向けた研修を行い、職員の意識向上を図りました。 ◆在宅医療・介護に関わる関係職種による、顔の見える関係の構築を目的とした研修会を、看護協会やメディカルネット曇気楼との共催で開催しました。</p>
	<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①救急医療体制の充実】 ◆救急医療体制について、「魚津市急患センター」及び「在宅当番医制」を含めて、継続できる体制づくりに関して検討を進めます。 ◆市内唯一の中核的病院である富山労災病院内に、がん診療連携拠点病院としての役割や急性期・救急医療への対応が期待されることから、高度医療機器の貸与等の支援を継続します。</p> <p>【②在宅医療の推進】 ◆関係機関と連携を図りながら、在宅での医療・介護を推進するための普及啓発を行います。 ◆住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するにあたり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、在宅医療を推進していきます。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<p>◆救急医療体制については、費用面や担当医師のマンパワーなどを整理し「魚津市急患センター」「在宅当番医制」のあり方を、継続して検討すること。 地域包括ケアシステムを構築していくにあたり、医師会や介護事業所等との連携を図り、在宅医療を推進すること。</p>
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<p>◆「魚津市急患センター」や「在宅当番医制」により、引き続き救急医療体制を確保します。 ◆住民への普及啓発を含めて、安心して在宅医療が継続できる体制を構築します。</p>